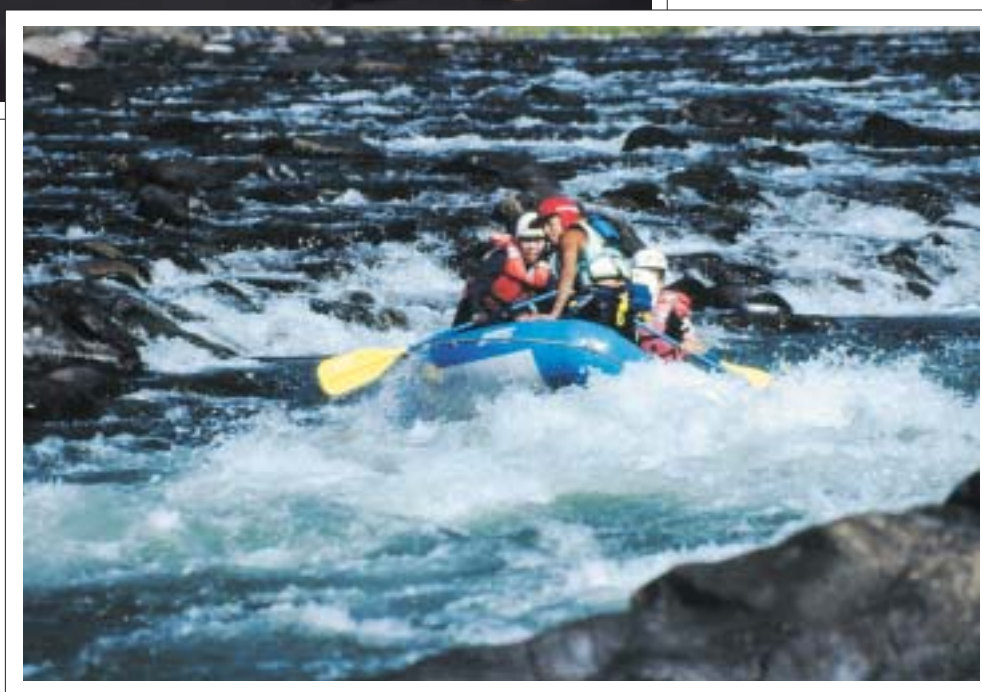


# 人と地球環境に優しい企業活動を目指して

2006 人吉電力所 環境アクションレポート



# 目次

ごあいさつ..... 1

## 第1章／電力所と環境との関わり ..... 2

## 第2章／人吉電力所の概要 ..... 4

1. 組織と業務
2. 管轄範囲
3. 管轄設備と運用実績
4. 人吉電力所環境方針

## 第3章／環境活動のしくみ ..... 6

### 1 環境マネジメントシステム..... 6

1. EMS導入とISO14001認証取得
2. 運用体制
3. 内部環境監査
4. 教育・訓練
5. 外部環境審査

### 2 計画と実績..... 8

1. 2005年度の実績と評価
2. 2006年度の計画

## 第4章／環境活動への取り組み ..... 10

### 1 環境汚染を予防する設備形成の推進... 10

### 2 電力所オフィスにおける3Rの推進... 12

1. 一般廃棄物の3R
2. 産業廃棄物の適正処理
3. グリーン調達の実施

### 3 地域貢献..... 13

1. 地域清掃活動への積極的参加
2. 植樹活動への参加
3. 不法投棄防止への取り組み
4. 小学校における環境活動講師の実施
5. 稚魚放流の実施

### 4 環境活動意識の高揚 ..... 14

1. 意識高揚標識の設置
2. 環境活動情報誌の掲示
3. 環境に優しい日常行動の自己評価
4. 環境方針カードの配布

### 5 人吉電力所EMSの経緯 ..... 17

## ～表紙の写真について～



### ■きじ馬と花手箱

800年以上前、平家の落人が球磨地方に逃れ、人吉の奥地に居を定めたとされています。平家落人たちは、過ぎし都の暮らしを懐かしみ、きじ馬、花手箱、羽子板などの美しい木工作品を作りはじめたと伝えられています。



### ■ラフティング

日本三大急流の一つである球磨川は、「球磨川下り」が有名ですが、最近では人吉・球磨の大自然が満喫できるスポーツ「ラフティング」も盛んに行われています。

## ごあいさつ

人吉電力所は、熊本県南東部の人吉市と球磨郡及び八代市の一部にある水力発電所、変電所及び送電線路の保守及び維持、管理を主業務として、お客さまに良質で安定した電気をお届けすることを使命としている事業所です。

当所では「電気にまごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」を行動方針に掲げ、所員が一丸となって、電気を安定して送り続けるとともに、環境に優しい事業運営を目指しており、2001年3月に環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得し、全所員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「私たちは 未来へつなぐ 環境活動を推進します」というビジョンのもと、循環型社会の形成及び環境関連法規制の遵守など5項目の基本方針を定め、環境マネジメントシステムを確実に展開するとともに、所員一人ひとりが日常生活においても環境に配慮した行動を実践しています。

今回は、皆さま方に私たちの環境保全への取り組みを知っていただくために、この「人吉電力所アクションレポート」を発行しました。皆さまの率直なご意見、ご感想をお待ちいたしております。

私たち所員一同は、今後とも地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、環境にやさしい企業活動に努めていく所存です。

2006年6月

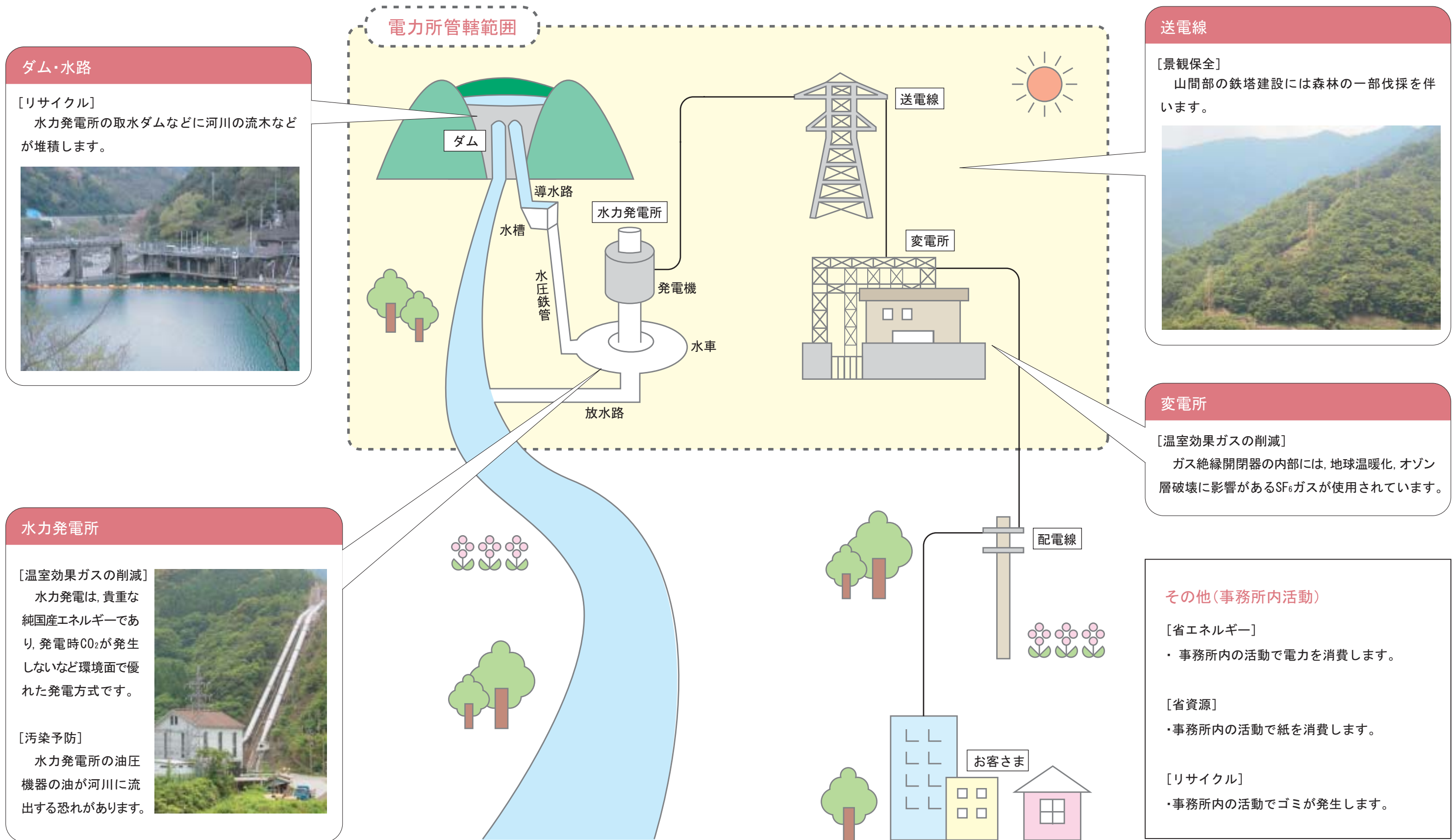
熊本支店  
送変電統括部 人吉電力所長  
柿本 義一



# 第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由して需要地に近い変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下のようになります。

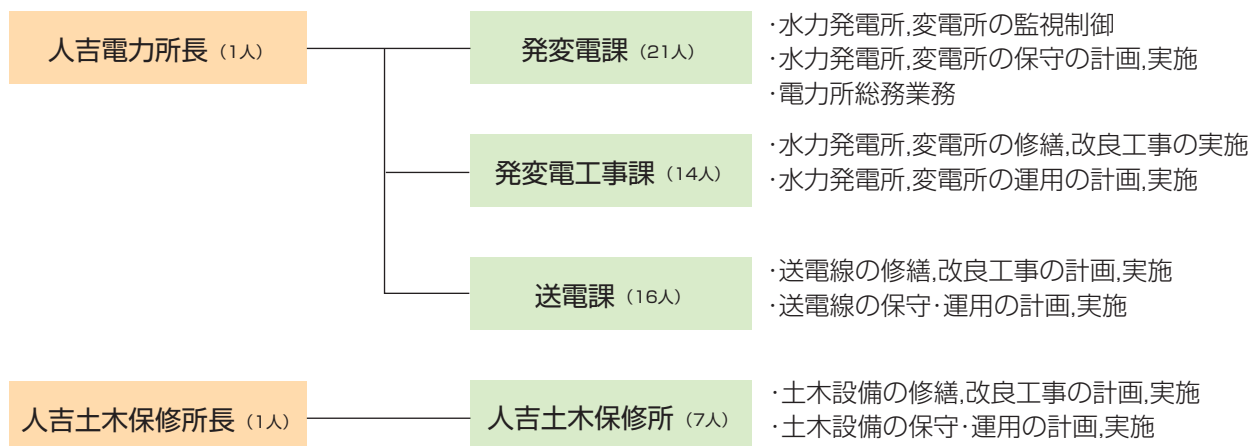


# 第2章／人吉電力所の概要

人吉電力所は、熊本県南部、人吉市周辺の電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理しており、同地域の土木設備を管理する人吉土木保修所とともに環境活動に取り組んでいます。

## 1. 組織と業務

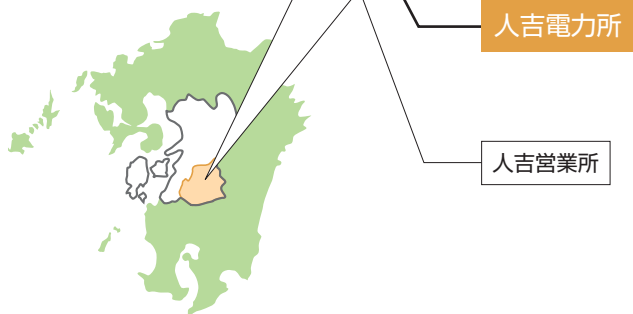
人吉電力所及び人吉土木保修所の組織と業務は以下のとおりです。



※：旧人吉電力所土木課。2005年7月に組織改正し、別組織となったが、人吉電力所のEMS活動を継続して実施している。

## 2. 管轄範囲

人吉市,球磨郡(錦町,あさぎり町,多良木町,湯前町,水上村,五木村,相良村,山江村,球磨村)及び八代市の一部(泉町)



## 3. 管轄設備と運用実績

人吉電力所			
水力発電所	9箇所	出力合計	60,860kW
変電所	3箇所	容量合計	665,000kVA
送電線	路線亘長 319km		

2006年3月31日現在

発電実績	137,383MWh
需要実績	524,675MWh

2005年度実績



## 4. 人吉電力所環境方針

人吉電力所は、以下のような考え方に基づいて環境保全活動に取り組んでいます。

### 九州電力環境憲章

「環境にやさしい企業活動を目指して」

1. すべての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識します。
2. すべての事業活動において、豊かな環境の実現を目指します。
3. すべての事業活動において、環境情報公開を積極的に推進します。

2001年2月15日 社長

### 人吉電力所環境方針

## ISO14001 環境管理活動

### ● 環境方針 ●

(基本理念)

九州電力株式会社は、「ヒューマンな九州を創る企業体」という企業理念のもと、「環境保全を考慮した電力供給責任の達成」及び「地域社会発展への寄与」を経営の根幹に据え、人と地球環境に優しい企業活動を展開しています。

人吉電力所は水力発電所、変電所、送電線路の保守、維持、管理を主業務とし、電力の安定供給を使命とする事業所であり、「電気にまごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」の行動方針の基に地域住民の一員として所員自らができる活動から環境マネジメントシステムに取り組めます。

(基本方針)

- 1 事務所内活動および水力発電所、変電所、送電線路の建設工事や保守作業などの事業活動全般を通じ、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び汚染の予防に取り組み、循環型社会形成と健全な環境の維持・向上に努める。
- 2 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守する。
- 3 事業所が管理する範囲の環境保全に努め、周辺の地域環境に配慮した活動を積極的に行う。
- 4 環境目的・目標を定め、その実現を図り、年に一度、電力所環境方針と共に見直すことにより、環境システムの継続的改善を推進する。
- 5 電力所員が基本的考え方を認識し、電力所環境方針に沿った行動を行うように従業員教育を行う。

環境方針は社内外へ公表する。

平成17年4月1日  
九州電力株式会社 熊本支店  
人吉電力所 長

九州電力株式会社  
熊本支店人吉電力所

電気にまごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を！

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のようなしくみを築いて環境保全活動に取り組んでいます。

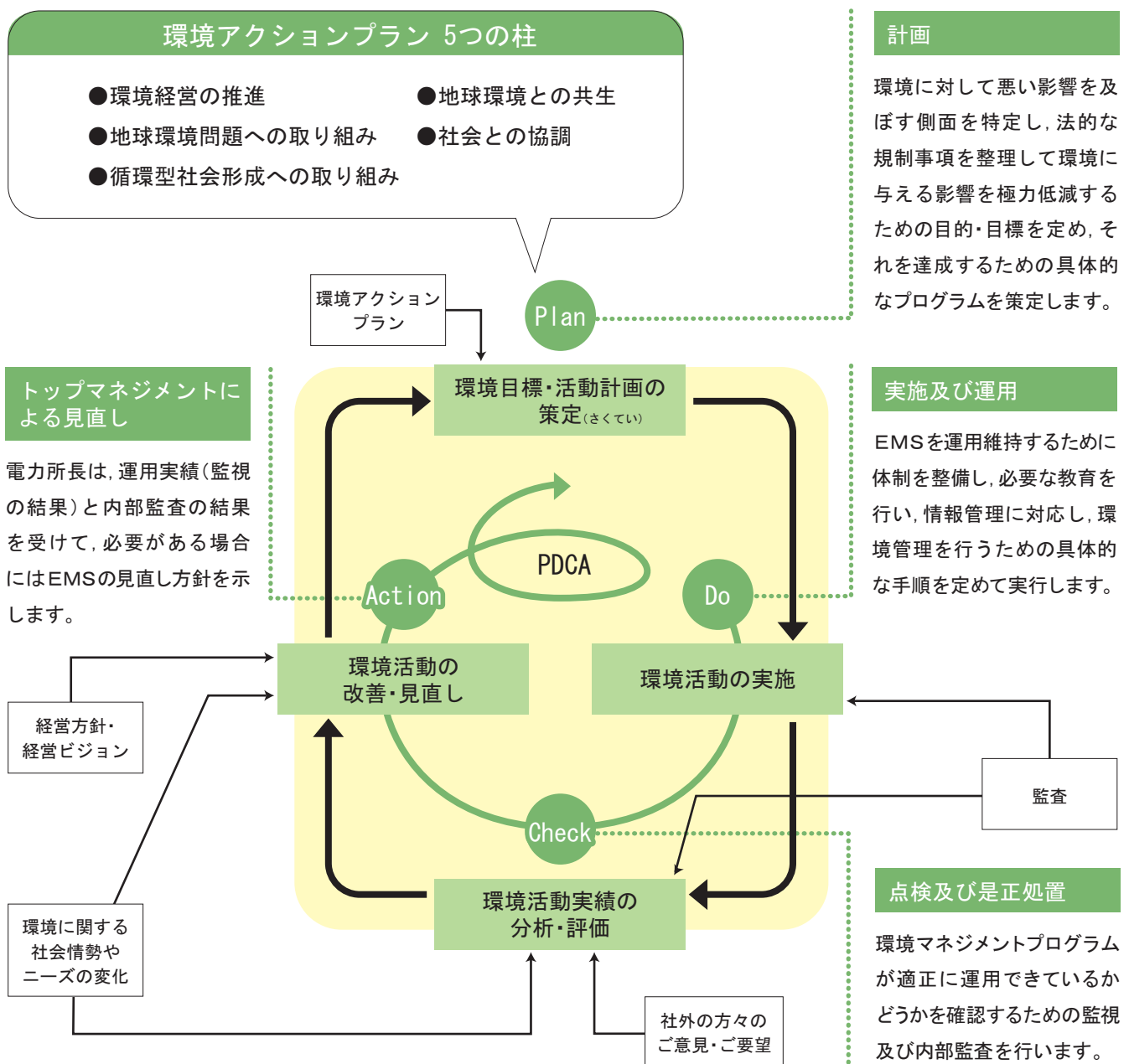
## 1 環境マネジメントシステム

### 1. EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷軽減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の断続的な低減を図るシステムです。

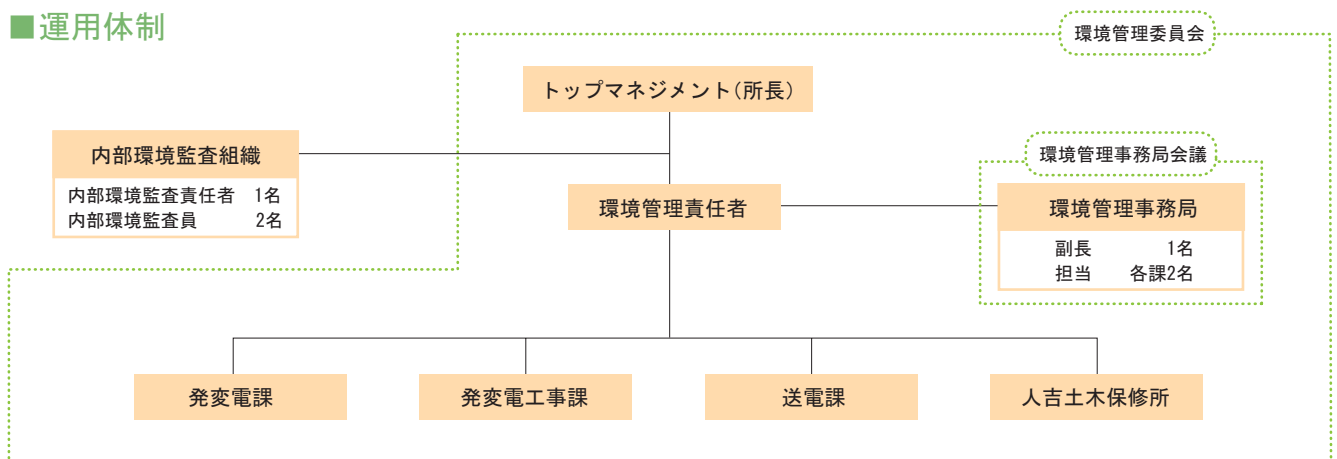
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



## 2. 運用体制

電力所内で業務する人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

### ■ 運用体制



## 3. 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

## 4. 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	1
衛生管理者	22
特別産業廃棄物管理責任者	3
危険物取扱責任者	21
内部環境監査員	6

## 5. 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目には更新審査を受けて更新継続しています。

これまでの審査で、2年連続して最高の「向上」の評価を受けています。

外部環境審査の受審状況

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
認証取得	○					
更新審査				○		
定期審査		○	○		○	○



## 2 計画と実績

### 1. 2005年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

#### ■2005年度EMS目標の取り組み結果

計 画			結 果	備 考
項 目	目 標 値	実 施 方 法		
事務所内電力 使用量の削減	1999年実績から 16%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定(冷房28℃, 暖房19℃)</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施</li> <li>・時間外の適正実施, 管理</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・照明スイッチ部への省エネ意識高揚標語類の設置</li> </ul>	1999年実績から 18%削減	目標達成
事務所活動における 紙の使用量削減	2002年実績から 4%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの活用</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・ミスコピー防止の徹底</li> <li>・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減)</li> </ul>	2002年実績から 10%削減 (参考) 1999年実績から 31%削減	大幅に 目標達成
環境にやさしい行動 の積極的推進	26点/人 (環境活動をポイント化 : 16頁参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目)</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩, 自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹, 清掃等環境活動への参加</li> </ul>	42点/人	大幅に 目標達成
溢水電力※の低減	溢水電力量 3%削減 (計画時との比較)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停止計画時の合理的な調整</li> <li>・作業計画時間の厳守</li> <li>・適正な停止操作の開始</li> </ul>	溢水電力量 0.2%増加	目標未達
オール電化 普及促進	132ポイント (IHクッキングヒータ, 電気温水器の設置数を ポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚・友人・知人への勧誘活動</li> <li>・取引先への勧誘活動</li> <li>・オール電化展示即売会への参加</li> <li>・各種イベント時におけるPR活動</li> <li>・訪問PR活動</li> </ul>	154ポイント	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」「一般廃棄物のリサイクル」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

※事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。

## 2. 2006年度の計画

2006年度の計画は以下のとおりとしました。

### ■2006年度EMS目標

計 画 ( ____ は新規取り組み)			備 考
項 目	目標値	実施方法	
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から19%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定(冷房28℃, 暖房19℃)</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施</li> <li>・時間外の適正実施, 管理</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・空調設備他省エネ機器の導入検討</li> <li>・執務室他不要蛍光灯の間引き</li> </ul>	目標を上方修正のうえ, 継続して取り組む
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの活用</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・ミスコピー防止の徹底</li> <li>・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減)</li> </ul>	目標を上方修正のうえ, 継続して取り組む
環境にやさしい行動の積極的推進	32点/人 (環境活動をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目)</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩, 自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹, 清掃等環境活動への参加</li> <li>不法投棄ゴミ発見時の通報</li> <li>割り箸リサイクル活動 など</li> </ul>	<p>目標を上方修正のうえ, 継続して取り組む</p> <p>更に, ポイント設定の見直しを実施</p>
漏水電力に繋がる事故障害件数の低減	2003年～2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備懸案事項の計画的な解消</li> <li>・水車発電機巡視の強化(異常の早期発見, 対応)</li> <li>・チェックリスト等による施工不具合の撲滅</li> <li>・類似事故の撲滅(事故発生時の原因究明, FT図作成等)</li> </ul>	取り組み内容を見直し(実際の業務に直結した内容に変更)
オール電化普及促進	120ポイント (2ポイント/人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚・友人・知人への勧誘活動</li> <li>・取引先への勧誘活動</li> <li>・オール電化展示即売会への参加</li> <li>・各種イベント時におけるPR活動</li> <li>・訪問PR活動</li> </ul>	継続して取り組む
オフィスクリーンの推進	平均85点以上 (チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み(チェックリストを用いた実施状況確認)</li> <li>・文書電子化のための機材の充実</li> <li>・発電所資材, 備品類の整理, 整頓</li> </ul>	新規

# 第4章／環境活動への取り組み

人吉電力所における具体的な環境保全活動についてご紹介します。

## 1 環境汚染を予防する設備形成の推進

お客さまへお届けする電気は、発電所、送電線、変電所、配電線といった様々な設備を経由しており、電力所ではそれぞれの設備に対応した環境配慮への取り組みを行っています。ここでその一例をご紹介します。

### 国産自然エネルギーの有効利用

国産自然エネルギーの有効利用の観点から、水力発電所の水車・発電機など機器取替の際には出力アップを指向しています。2005年度は当電力所管内2発電所の出力を2,520kWアップしました。

- ・田迎発電所 2,200 → 4,700kW
- ・大野発電所 60 → 80kW

### 流木の有効活用

水力発電所のダムなどに漂着した流木塵芥については、仮置き場に集積後、破砕機にて粉砕処理し田畑の堆肥として利用するなど有効に活用しています。

2005年度は130m<sup>3</sup>の流木塵芥を回収し、再利用しました。



流木塵芥の袋詰め



破砕機による粉砕

### 環境負荷の低減

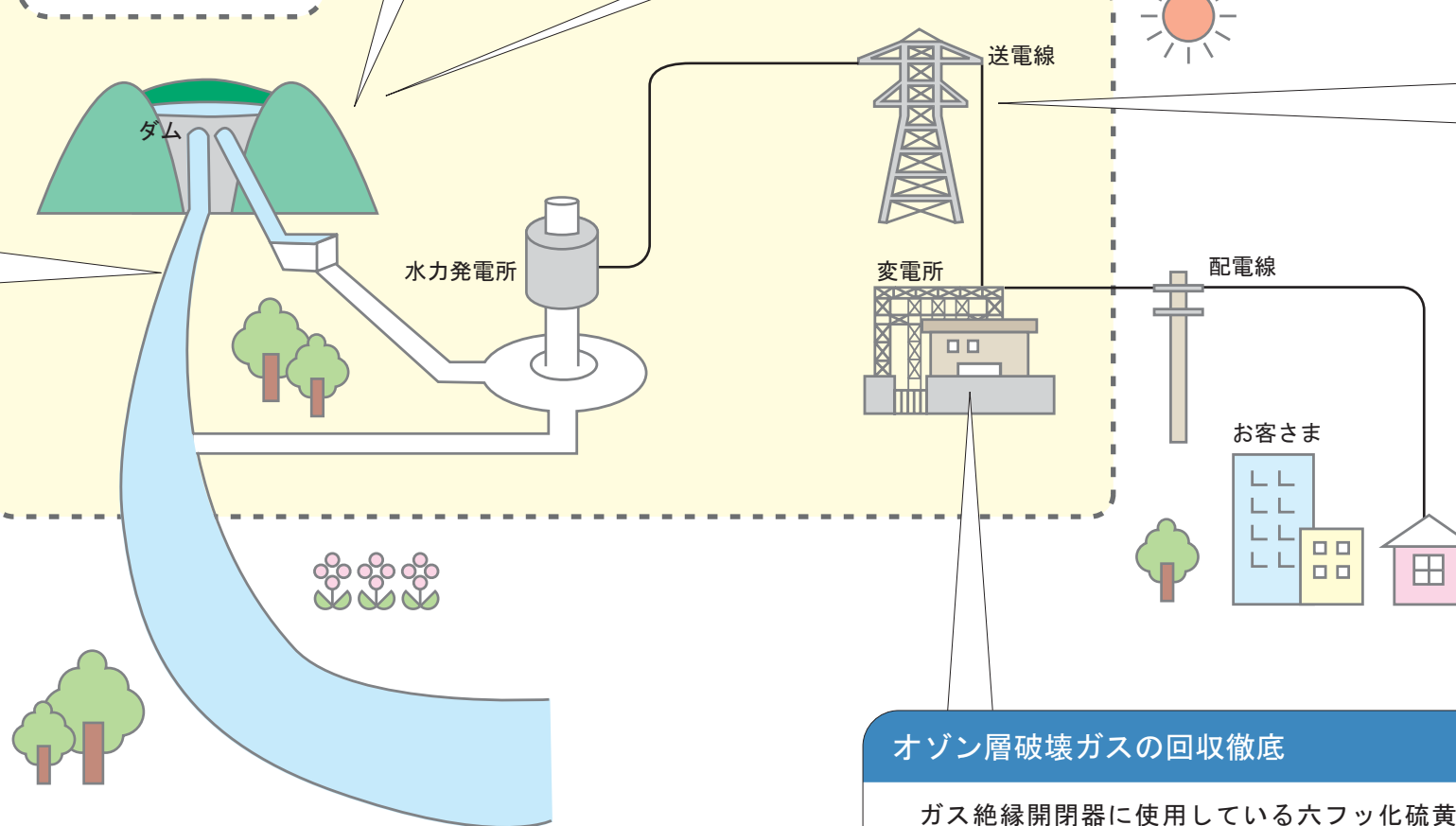
水力発電所からの油流出を抑制する観点から、水車起動・停止時など弁開閉操作を電動化することで保有油量を少なくし環境負荷の低減を図っています。2005年度は2発電所を電動化し、圧油用の油を1,500ℓ低減しました。

更に、水力発電所の潤滑油として油脂メーカーが開発された「環境に優しい油(万一河川へ流出しても自然界の微生物に分解されやすい油)」を2005年度から試験的に採用しています。



水車発電機

### 電力所管轄範囲



### 送電鉄塔の環境調和

送電鉄塔の鉄塔敷地面には種子を入れた植生マット及び植生土嚢を設置し、これを根付かせることで風雨等による表層流出(地肌露出)を抑制するとともに緑化にも貢献しています。

2005年度は、山間部に新しく設置した4基の鉄塔基礎部を緑化しました。



鉄塔基礎部

### オゾン層破壊ガスの回収徹底

ガス絶縁開閉器に使用している六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)ガスは、機器点検の際、大気に放出しないよう専用の回収装置を使用して排出の抑制に努めています。当電力所における2005年度の回収率は99.9%となりました。

また、空調装置の取替時には、オゾン層に影響のない代替フロンの使用機器への順次切替を行っています。



ガス絶縁開閉器

### 事故に備えた訓練の実施

水力発電所は河川に油が流出しない設備の構築を行っていますが、万が一油が流出した場合に備え、迅速・的確な対応により、被害を最小限に抑えることが出来るように年1回定期的な訓練を行っています。



オイルフェンス設置及び油回収



訓練状況



## 2 電力所オフィスにおける3Rの推進

当社は循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」に挑戦しており、発生抑制(Reduce: リデュース), 再使用(Reuse: リユース), 再利用(Recycle: リサイクル)の3Rに取り組んでいます。

### 1. 一般廃棄物の3R

電力所で発生する一般廃棄物には、古紙、ペットボトル、ビン、缶などがあり、人吉市の「資源ごみ」回収に協力するとともに、以下のような取り組みを行っています。

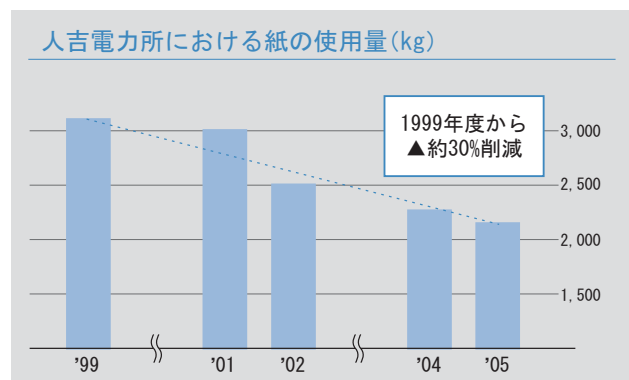
#### 一般廃棄物の分類



(人吉球磨クリーンプラザホームページより転載)

#### リデュース, リユースへの取り組み

事務用紙については、電子承認システムの採用等による社内文書の電子化の推進及び印刷時の両面コピー、会議におけるプロジェクタの使用などにより古紙の発生抑制とミスコピー用紙の裏面再利用などに努めており、2005年度の事務用紙購入量は1999年度と比較して約30%削減しました。

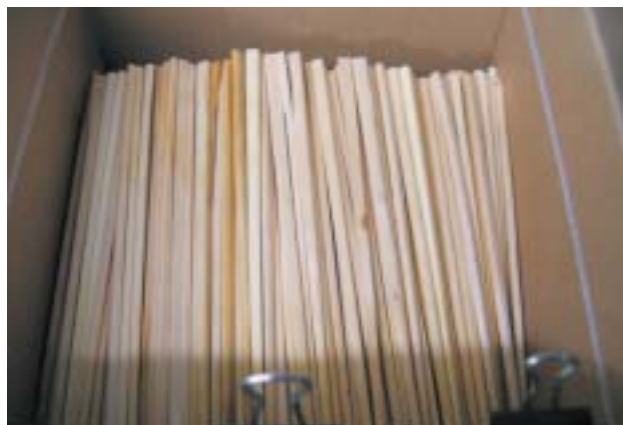


#### リサイクルへの取り組み

更に、2005年度から、割り箸リサイクルに取り組んでいます。回収した割り箸は、紙の原材料として再利用されます。



割り箸回収箱



回収状況

また、生ごみについては、生ごみ処理機で再生し構内緑化用の肥料として利用しています。



生ごみ処理機設置状況

## 2. 産業廃棄物の適正処理

工事で発生する産業廃棄物は、取引先の処理が適正に行われていることをマニフェストで確認するとともに、再使用(リユース)・再利用(リサイクル)の徹底により、可能な限り最終処分量を削減するよう取り組んでいます。

## 3. グリーン調達の推進

事務用品、OA機器消耗品等の購入においては、環境に配慮した製品を購入する「グリーン調達」を推進しています。

オフィスで使用する物品は、環境にやさしいエコ製品(エコマーク商品等)を積極的に購入しています。(例:コピー用紙類、トイレトーパー、文具類、パソコン他)

## 3 地域貢献

当電力所は、地域の環境ボランティアにも積極的に取り組んでいます。

### 1. 地域清掃活動への積極的参加

毎年5月頃に実施される人吉温泉焼酎祭り及び8月の花火大会後に行われる人吉市主催の清掃ボランティアに2005年度は計53名が参加しました。

### 2. 植樹活動への参加

当社は、創立50周年を記念して10年間で100万本を植樹する「九州ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。2005年度は人吉市の草津川源流域及び錦町の植樹活動に、当所から計39名が参加しました。



植樹活動

### 3. 不法投棄防止への取り組み

当電力所を含む人吉地区の九電グループ各社は、県(球磨地域振興局)と「廃棄物の不法投棄に関する協定」を締結しており、送電線の巡視時などに不法投棄と思われる状況を発見した場合は自治体へ情報提供を行います。更に、回収活動も行っており、2005年度は2日間に亘り延べ30名が参加し、836kgもの不法投棄ゴミを回収し、適正に処理しました。



不法投棄ゴミ回収状況



分別回収・運搬



## 4. 小学校における環境活動講師の実施

当電力所の「不法投棄ゴミ回収活動」に関心を抱かれた小学校からの依頼を受けて、2005年5月23日、人吉市立田野小学校の総合学習の時間に「環境問題と当社の環境活動」をテーマとして講義を受け持ちました。

当社の環境活動について知っていただくとともに、



小学校での講義

環境問題への関心を高めることに貢献できました。その後、この小学校では児童自らが製作した不法投棄防止の看板が設置されるとともに、当電力所と協力してプランタの設置、清掃活動を行うなど環境活動の輪が広がりをを見せています。



プランタ及び看板の設置

## 5. 稚魚放流の実施

当社「環境月間」一環として、当電力所では清流への稚魚放流などを行っています。2005年6月には五木村梶原川流域の三浦小学校の児童・教諭とともにヤマメ稚魚8000匹を放流しました。



ヤマメ放流

# 4 環境活動意識の高揚

## 1. 意識高揚標識の設置

所員がコスト意識を持って省エネなどの環境活動に取組むように意識高揚のための標識を照明・エアコンのスイッチなどに設置しています。

また、当電力所では環境に優しい行動の一環として「樹木に優しい前向き駐車」にも取組んでおり、お客さま用駐車場に看板看板を設置し、励行していただいています。



スイッチ部の標識



「前向き駐車」呼びかけ看板

## 2. 環境活動情報誌の掲示

当電力所では、毎月の活動状況を「EMS活動情報誌」として作成し、目標達成状況、法改正などの周知と目標達成のための動機付けのために所内掲示しています。

平成24年 12月 8日  
環境管理部環境課

### ISO no Navi Hei!!

【大古電力所 EMS活動情報誌 (12月 8日)】

1. 活動経過について (■は目標未達月)

(1) 事務所内電力使用量の削減 (H11年実績から16%削減)

年度累計は目標を上回っていますが、横ばいになっています。各課は「暖房設定温度19℃」「長時間離席時のパソコン電源OFF」などを徹底し、更なる低減に努めましょう。

課	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総務課	10,000	10,500	11,000	11,500	12,000	12,500	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	15,500	16,000	16,500	17,000
環境課	5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	6,200	6,400	6,600	6,800	7,000	7,200	7,400	7,600	7,800
保安課	3,000	3,100	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
検査課	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300	3,400
配電課	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
計	21,000	22,100	23,200	24,300	25,400	26,500	27,600	28,700	29,800	30,900	32,000	33,100	34,200	35,300	36,400

(2) 事務所活動における紙の使用量削減 (H14年実績から4%削減)

月、年度累計とも目標を大きく上回りました。「再利活用可能な紙(裏面紙)」と「リサイクル可能な紙(古紙)」の分別を更に確実にを行い、H14年実績から10%削減の達成を目指しましょう。

課	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総務課	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240
環境課	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120
保安課	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58
検査課	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48
配電課	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
計	210	228	248	269	294	325	362	401	442	485	530	577	626	677	730

(3) 環境にやさしい行動の積極的推進 (26品/人)

各課とも目標を上回り、年度目標もクリアしています。3S、緑林等のボランティア活動へ積極的に参加し、活動を更に活性化しましょう。(目標は40品/人)

2. 環境活動トピックス

- ・ 主催者サーベイランスタが3月25日(水)～26日(金)で行われます。関係者は対応をよろしくお願いいたします。(スケジュール等は事務局から連絡します。)
- ・ H14年12月4日(土)「九州ふるさとのおくちり(納付)」に、多数ご参加いただきありがとうございました。

3. その他

- ・ 環境部活動域別に変更はありません。(H16.1月度)

### 3. 環境に優しい日常行動の自己評価

当電力所では、事業所独自の取り組みとして、所員の環境への日常的貢献活動や地域ボランティア活動などを「環境に優しい行動」としてポイント化し、自己評価することで皆の参加意識を高め、活動の活性化を図っています。

具体的には日常生活の中で行う通勤手段、自動車運転方法などの日常活動と清掃、廃品回収及び植樹等への参加などの環境活動を点数化の対象としており、このような活動を通じてEMS活動への当事者意識が芽生え、活動も年々活発化しています。

環境に優しい日常活動行動チェックシート (H17年 月)

記入方法: 各項目ごとに数値は「○」 「△」を記入し、月末に集計ポイント数を記入して下さい。

項目	活動内容		活動ポイント				達成率 (%)
	活動項目	実施状況	ポイント	減点	合計	目標	
1 (月)							
2 (月)							
3 (月)							
4 (月)							
5 (月)							
6 (月)							
7 (月)							
8 (月)							
9 (月)							
10 (月)							
11 (月)							
12 (月)							
合計							

※1: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入  
※2: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※3: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※4: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※5: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※6: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※7: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※8: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※9: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※10: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※11: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※12: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※13: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※14: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※15: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※16: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※17: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※18: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※19: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※20: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※21: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※22: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※23: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※24: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※25: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※26: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※27: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※28: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※29: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

※30: 減点: 1. 年末締め... 減点ポイントを記入

環境に優しい日常活動行動チェックシート

点数設定の根拠

① 本所での活動... ② 本所での活動... ③ 本所での活動...

項目	点数	減点	合計	達成率 (%)
1 (月)				
2 (月)				
3 (月)				
4 (月)				
5 (月)				
6 (月)				
7 (月)				
8 (月)				
9 (月)				
10 (月)				
11 (月)				
12 (月)				
合計				

① 本所での活動... ② 本所での活動... ③ 本所での活動...

点数設定の根拠

### 4. 環境方針カードの配布

環境方針は事務所に掲示するとともに、EMSに関する認識を促すため、活動内容を併記した環境活動カードを全所員に配布し、常に環境保全を意識するようにしています。

ISO 14001 環境管理

環境方針

環境活動カード

環境活動カードの配布

P5を参照下さい。

平成17年度 H17年度電力所目標

環境目的	H17年度電力所目標	目標の根拠	各課
事務所内電力使用量削減	電力所建屋内で消費する電気の使用量を平成11年度実績から16%削減する。	平成16年度実績は目標15%削減に対し、16%程度であった。省エネ行動率は、ほぼ100%であるものの時差外の適正実施・管理を追加し、若干の削減率向上が見込めるため、平成19年度までに平成11年度実績から18%削減とし、平成17年度目標は16%削減とする。	①電力土木 ②電力発電 ③発電発電
事務所活動における紙の使用量削減	電力所事務所活動で消費する紙の使用量を平成14年度実績から4%削減する。	—	①電力土木 ②電力発電 ③発電発電
環境に優しい行動の積極的推進	年間一人平均28点以上とする。	平成17年度は、環境活動への参加を年2回（5点程度）以上とし、平成18年度以降は5点毎のプラスを目指す。また、平成16年度実績を踏まえ、環境活動の推進を図る。	①所員 ②人量 ③支店 ④活動

環境活動カード

環境活動カード



## 5 人吉電力所EMSの経緯

年 月	主な行事
1999年 9月 16日	「環境ISO14001取得推進委員会」発足
2000年 9月 1日	環境マネジメントマニュアル制定・発行(各活動の開始)
2001年 2月 16日	本審査
2001年 3月 14日	認証取得
2002年 5月 30日	環境ISO活動による社長表彰受賞
2002年 10月 1日	「環境管理基準」制定
2003年 2月 6日	2年次サーベイランス(結果：向上)
2004年 3月 10日	更新審査合格
2004年 6月 23日	県と「廃棄物の不法投棄対策に関する協定書」を締結
2005年 2月 4日	1年次サーベイランス(結果：向上)
2006年 3月 2日	2年次サーベイランス(結果：向上)





このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域(総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業)を「四つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力が全体の事業活動を通して環境活動を推進していく姿勢を表現しています。

九州電力はチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



人をむすぶ、街をつなぐ

九州電力

〒868-0022 熊本県人吉市願成寺町1350番1号  
九州電力株式会社 熊本支店  
送変電統括部 人吉電力所  
TEL(代)0966-22-2289

2006年6月発行



このレポートは、九電グループで発生・回収した古紙を利用し、再生した用紙を活用しています。

